- 教育大綱は、市区町村長が、地域の実情に応じ、教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策の基本的な考え方等を定めるものです。
- 生坂村第3次教育大綱（案）へのご意見を募集します。
- ご意見は、令和7年2月28日（金）までに、メール、FAXで教育委員会へお寄せください。
メール：ikukyo@vill.ikusaka.nagano.jp
fax：0263-69-3390

生坂村第3次教育大綱

「調和」「知性」「活力」「生きがい」「希望」のある
村づくりのための教育の実現に向けて

令和7年4月1日

■第3次教育大綱策定にあたって

生坂村は、「山紫水明 食と文化 癒しの郷」であり、犀川の清き流れと溪谷美の山清路、雄大な大城・京ヶ倉など、水辺と里山が織りなす風光明媚な自然に恵まれ、金戸山百体観音、乳房イチョウなど多くの歴史・伝統文化と、おやき、おにかけ、干し柿などの食文化の財産を背景にして、先人達の努力により守り育ててきた自然・伝統との共生の精神を受け継ぎ、地域の絆を大切に心豊かな暮らしを営んでいます。

村では、第6次総合計画に基づき、「福祉の村づくり事業」「子育て支援事業」「産業振興事業」「地域活性化事業」の4つの重点事業を柱に少子化・人口減少や高齢化対策、地域や村の活性化に取り組んでまいりましたが、2050年までの二酸化炭素(CO₂)の排出量実質ゼロを目指した「ゼロカーボンシティ宣言」を皮切りに、村民の皆様の生活を向上し、住み慣れた当村で長く住める環境づくり目指し、脱炭素社会の構築に向けた新たな取組にも挑戦しております。

一方、少子化・人口減少や高齢化社会の到来を迎え、村が持続していくためには、人口の定着、当村出身者のUターンや移住者の更なる増加が必要です。また、経済発展や社会的課題の解決を両立する新たな社会である「Society5.0」の到来や、変化が急激で先を見通すことが困難なVUCA(変動制、不確実性、複雑性、曖昧性)の時代を見据え、持続可能な地域社会の創り手の育成も必要です。

こうした中、学校教育や社会教育など教育の役割は、次の時代・地域社会を担う人材の育成、文化芸術・スポーツの推進にとどまらず、地域社会の持続可能性を高める部分でも大きな役割が期待されています。

「山紫水明」の生坂村で、新しい時代を生き抜く力を養い、故郷生坂を想い、生坂と共に生きようとする子どもたちを育てるとともに、村民憲章に謳う「調和」「知性」「活力」「生きがい」、そして「希望」のある村づくりを一層推進するため、生坂教育に対する村民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

村長 藤澤 泰彦

■教育大綱の位置づけ

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。
- 教育大綱は、総合計画の期間である令和 11 年度までを目安とします。

■生坂教育を取り巻く状況

【少子化・人口減少、高齢化社会】

- 令和 5 年の人口動態統計によると、合計特殊出生率は国全体で 1.20、長野県で 1.34 といずれも過去最低値となりました。また、当村の高齢化率は 40%を超えており、長野県及び全国に比べて 10 ポイント以上高い水準にあります。
- 令和 6 年 4 月 1 日現在の当村の人口は 1,637 人(前年同月 46 人減)、同現在の 15 歳人口が 14 人に対し、0 歳人口は 8 人と 15 歳の 6 割程度の状況にあり、少子化・人口減少に歯止めがかかっていません。
- 人口の自然減対策はもとより、Uターン等移住施策による社会減対策を進める必要があります。

【2050 年脱炭素社会の構築】

- 地球規模の気候変動により、当村でも台風や豪雨による土砂災害、降雹によるブドウへの被害が発生しており、未来を担う子どもたちが安心して暮らせる持続可能な地域社会を作るためにも、脱炭素社会の構築が急務となっています。
- 村では 2050 年までの二酸化炭素（CO₂）の排出量実質ゼロを目指した「ゼロカーボンシティ宣言」を皮切りに、村民の皆様の生活を向上し、住み慣れた当村で長く住める環境づくり目指し、脱炭素社会の構築に向けた新たな取組に挑戦しています。

【Society5.0、VUCAの時代の到来】

- 日本が目指す未来の社会として、フィジカル（現実）空間とサイバー（仮想）空間を融合させたシステムにより、社会的な課題解決と経済発展を両立させる新たな社会（Society5.0）が提唱されています。

- 地球規模の気候変動による災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症による暮らしや経済への影響、紛争等激変する国際情勢など、様々な危機が複合的に訪れており、「VUCAの時代」（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代）と言われています。

■ 生坂教育の現状・課題

【保小中一貫教育の開始】

- 現在の小学校、中学校の校舎や小学校6年・中学校3年の枠組みを残しつつ、Ikusaka学、標津町等他地域との交流学习、豊かな人間関係づくり、多様な教員との関わり、自ら学びを生み出す授業などを通じ、義務教育課程の9年間で、郷土愛や自立心などを育む一貫教育を始めました。

【施設の維持管理】

- 小学校校舎は、建設から40年が経過し、老朽化しているため、保小中一貫教育の実施状況に併せ、大規模改修、現地建て替え、移転等を検討する必要があります。
- 脱炭素社会構築に向け、教育委員会関係施設への省エネ機器の導入等を推進しています。

【子どもが抱える困難の多様化・複雑化】

- 不登校やクラスに入れないなど、様々な状況の子どもに対する正しい認識を持つことが地域社会や家庭に求められています。
- 全ての子どもが適切な指導や必要な支援が受けられるよう、早期からの教育相談により、一人ひとりの適切な学びの場をつくっています。
- 特性がある児童・生徒等への支援のため、学校への支援員の配置や、通常学級に在籍しながら適切な教育が受けられるようLD等通級指導教室（サテライト教室）を設置しています。

【村民の文化芸術、スポーツ活動の推進】

- 健康づくりや住民の皆様同士の交流等のため、公民館やB&G海洋センターが行う事業により、村民の皆様のスポーツや文化芸術活動を推進しています。
- 中学生のスポーツや文化芸術の持続的な活動、学校教職員の働き方改革のため、中学校部活動の地域クラブ活動への移行が求められています。

【文化財の保存活用】

- 適切な保存活用に向けた取組を開始した登録有形文化財「旧平林家住宅」の活用にあたり、耐震対策も含めた改修や維持管理に多額の経費がかかるため、活用の方法を慎重に検討する必要があります。

■生坂教育の目指す方向

- 学校教育や社会教育を通じ、村民憲章に謳う「調和」「知性」「活力」「生きがい」「希望」のある村づくりを推進します。
- 少子化・人口減少、高齢化社会（時代）を迎え、定住やUターン促進も念頭に置き、地域学などを通じ、生坂で学び、生活する子どもに、故郷生坂を想い、生坂と共に生きようとする意識の醸成ができる教育を推進します。
- Society5.0 や VUCA の時代を見据え、保小中一貫教育を通じ、子どもに新しい時代を生き抜く力、自主性や主体性、豊かな心の養成、また、一人ひとりの学びや自己実現ができる教育を推進します。

【村民憲章】

- ・ 自然と環境そして歴史を大切にし、調和のある村をつくります
- ・ たがいに学び合い文化を高め、知性のある村をつくります
- ・ 誇りと喜びをもって働き、活力のある村をつくります
- ・ からだを鍛え温かい心を育て、生きがいのある村をつくります
- ・ 郷土を愛し若い力を伸ばし、希望のある村をつくります

【生坂村第6次総合計画の基本目標（抜粋）】

- ・ 健やかに子どもが育ち学び続けられる村づくり
ー 次世代の主役を地域で育て心潤う生活をつくり出しますー
- ・ みんなが元気ににこにこ暮らせる村づくり
ー 健やかな心とからだを守っていきますー

【生坂村の教育目標】

豊かな自然、ひと、食と癒しに恵まれた「山紫水明」の郷 生坂で、新しい時代を生き抜く力を養い、故郷生坂を想い、生坂と共に生きようとする子どもたちを育成する

■特に推進したい施策

□脱炭素社会の構築

○脱炭素社会構築に向けた学習、普及啓発の推進

持続可能な村づくりのため、学校教育や社会教育を通じ、2050カーボンニュートラルの学習機会づくりや普及啓発を行い、村民の皆様の意識高揚を図ります。

□学校教育の推進

○郷土愛の醸成

定住やUターン促進も念頭に置き、義務教育期間で児童生徒が生坂に親しみ、郷土愛を持てるよう、生坂を幅広く学び、また、自主的・主体的に探究できる地域学を推進します。

○保小中一貫教育の推進

村外の皆様も心惹かれるような魅力ある学校教育を通じ、学校の垣根を越え、目指す子どもの姿を共有しつつ、新しい時代を生き抜く力を養い、故郷生坂を想い、生坂と共に生きようとする子どもを育成します。

○安心安全な学びの場の提供

老朽化している小学校の校舎について、幅広い観点から検討を進めます。

□生涯学習機会の提供

○文化芸術活動の促進

子どもから高齢者まで幅広い年代層の方々が、文化、地域課題等を学び、生きがいや健康づくり、仲間づくりなどを行える公民館教室開催に努めます。

□運動に親しむ環境づくり

○運動・スポーツに親しむ機会の創出

関係団体と連携し、内容や運営を工夫した各種スポーツ大会等を開催し、村民の皆様が運動やスポーツに親しむ機会をつくれます。

歴史、伝統、文化の継承

○文化財の保存と活用の推進

「旧平林家住宅(一星亭)」の適切な保存と活用に向け、村民の皆様と協働した再生活動や広報周知により保存や活用に向けた意識の高揚を図ります。

人権尊重

○男女共同参画の推進

性的マイノリティなどの性の多様性の尊重や理解を含めたジェンダー平等を目指し、男女が共に自立し、活躍できる村づくりを推進します。